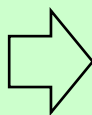


地域のつながりを大切にしながら経営規模の拡大に取り組む

～赤股 誠司 氏～

経営体の概要

当初：平成19年
基幹作物：水稲、はだか麦、野菜
経営面積：5ha



現在：令和3年度
基幹作物：水稲、はだか麦、野菜
経営面積：9.5ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

平成19年に専業農家となったことを機に、経営の安定化を図るため、徐々に規模拡大を図り、現在は経営面積9.5ha、このうち、アスパラガス0.6ha（パイプハウス23棟）、ブロッコリー1.1haなどの大規模経営を実現している。

事業による安定的な用水供給と、経営者の創意工夫による栽培技術ときめ細かな水管理、水稲、麦、野菜を組み合わせた計画的な営農展開等により、経営の安定化が図られている。

営農改善のポイント

①栽培技術の確立向上

アスパラガスは、香川県のオリジナル品種「さぬきのめざめ」を栽培しており、アスパラガスのパイプハウスでは、かん水用パイプや自動給水設備を経営者が直営で施工している。

アスパラガスを植えてから10年ほど経つと樹勢の衰えとともに収量が下がってきたため、高畝栽培や施肥の工夫等独自の取り組みの結果、樹勢が回復し、アスパラガスを植えてから16年目の現在でも高い収量を維持している。



パイプハウス内の様子



かん水用パイプ



「さぬきのめざめ」
一般のアスパラガスより大きく、
春の萌芽が早く、穂先の開花が
遅いのが特徴

②流通・販売の工夫

当初、さぬきのめざめは生産者団体等へ全量出荷していたが、他の品種と差別化を図るため、さぬきのめざめを大規模で栽培している農家15戸でグループをつくり、さぬきのめざめ専用の袋や箱、規格をそろえ、仲介業者を通じて直接スーパー等へ卸している。

③地域へ及ぼす影響

経営者は、生産者団体等、県のブロッコリー一部会長、農業士、農業委員会、地域の祭り等、様々な役を担っている。また、生産者団体等や農業大学の就農研修生の受入も行うなど、地域や行政とのつながりを大切にしている。

事業概要

事業種：国営農業用水再編対策事業
関係市町：香川県丸亀市、坂出市、善通寺市、
綾歌郡宇多津町、仲多度郡琴平町、
多度津町、まんのう町

受益面積：3,996ha
事業期間：平成20年度～平成28年度
事業目的：用水改良
主要工事：用水路（改修57.9km、新設3.4km）
水管理施設（改修・新設）

位置図（香川県）



香川用水土器川沿岸地区

<問い合わせ先>

中国四国農政局
農村振興部農地整備課
電話：086-224-4511
（内線：2562）

（令和4年度調査時点）